

委員会レポルト (常任委員会・所管事務調査・道内先進地視察調査)

総務文教常任委員会

【所管事務調査】

・平成30年8月2日

①学校施設の大規模改修について  
増築工事中の札内南小学校を視察し、これまでの大規模改修工事の実施状況や、「長寿命化計画(個別計画)」を平成32年度に策定するとの説明を受けた。委員からは、子供たちのために早期に計画を策定し、改修工事に着手すべきなどの意見が出された。

②札内スポーツセンターおよび農業者トレーニングセンターの指定管理者の公募について

平成31年4月から指定管理者制度を導入する両体育施設を視察し、指定管理者公募要項、選定基準について説明を受けた。委員からは、指定管理者が消費税の課税事業者となった場合の取扱などについて意見が出された。

・平成30年8月31日

①道立新設高校に対する町の支援策(案)について

教育振興会への補助金、町からの直接的な支援について、具体的な補助金額などの説明を受けた。委員からは、部活動における外部

指導員の雇用形態や身分、新設校の周知活動の取組などについて意見が出された。

道内先進地視察調査

平成30年8月6日から7日

《富良野市》

市内にごみ焼却施設を持たず、徹底した資源化に取り組んでいるごみ処理について調査した。

「燃やさない、埋めない」を基本理念に焼却や埋め立てを限りなくゼロに近付けるために、ごみを14種類に分別し、市民と一丸となって取り組んでいる。生ごみは堆肥化し農家へ、衣類や紙くずは固形燃料化し学校など公共施設のボイラー燃料に、プラスチックは再生事業者へと、約9割をリサイクルしている。「汚い・臭い」のごみ問題を克服し、年間180万人の観光客が訪れ、市民のごみ処理に対する評価、満足度は高い。十勝圏複合事務組合の焼却施設の更新期を迎え、大変参考となった。

《北海道庁(北海道総合政策部情報統計局情報政策課)》

道内の自治体クラウドの普及状況や導入するメリットと課題、導入する場合の費用負担、準備期間

などについて調査した。

導入メリットは、①コストの削減、②情報システム担当者の負担軽減、③高度なセキュリティ確保、④業務標準化による効率化がある。地方財政措置は、共同化計画やデータ移行経費などに特別交付税措置、推進に係る普通交付税措置がある。準備期間では、販売納入業者を変えない場合は1年前後、変える場合は1年半程度の期間を要する。コストでは、導入前のシステムから約3割の減と示されている。課題は、標準化されたアプリケーションとなり、カスタマイズを想定しておらず、各種業務に支障をきたす懸念があること。また、ネットワークケーブル寸断事故の発生など、自庁舎内に予備システムを持つか、回線の多重化の必要がある。本町役場庁舎は免震構造に加え、予備電源を有しており、その点を考慮し、導入の必要性を議論する必要がある。

《安平町》

本町でも来年度導入を予定するコミュニティ・スクール(CS)について、導入の背景や推進体制とその評価、目指す学校づくりなどについて調査した。

平成25年、全道の町村で初めて学校運営協議会制度を導入し、CSをスタートした。現在、町内の小中学校6校と認定こども園、道立追分高校に学校運営協議会を設置し、公私連携、幼小中高連携で地域総がかりの教育を進めている。導入目的は、「学校の応援団づくりに住民の力を借りること」とし、ふるさと教育に地域資源を最大限活用している。学校運営協議会委員選出は、「地域でボランティアをしている人、辛口の意見が言える人に入ってもらいたいことも重要だ」とし、地域ネットワークの構築につなげてきた。「地域と共にある学校」に向かって進んでいる。



安平町 豊島 滋氏【文科省CSマイスター [前教育長]】による説明(安平町総合庁舎)

委員会レポート (常任委員会・所管事務調査・道内先進地視察調査)



萱野茂二風谷アイヌ資料館前

①平取町立二風谷アイヌ文化博物館・②萱野茂二風谷アイヌ資料館 (平取町)》

①アイヌの民具やチセ群と数多くの資料等が収められ、アイヌ文化を正しく受け継ぎ、未来へと伝えていくことをコンセプトに、視覚・聴覚を使い学べるよう工夫されている。②昭和47年に開館し、右記①の仮オープンに伴い、資料は全て①に移された。平成4年3月、萱野茂氏のアイヌ民具コレクション等を収蔵する施設として再スタートした。本町の蝦夷文化考古館に収蔵する故吉田菊太郎氏が収集した文化財等の展示や保管のあり方について早急に方向性を出していく必要を感じた。

民生常任委員会

【所管事務調査】

・平成30年8月10日

①南十勝環境衛生センターの整備方針(案)について

南十勝環境衛生センターの焼却施設、リサイクルセンター等を視察した。その後、南十勝複合事務組合では、可燃ごみの処理について、くりりんセンターの新施設への移行時期(平成38年度以降)に合わせて、広域共同処理とする検討が行われており、現施設を中継施設として活用、集積した上で、くりりんセンターへの運搬を検討しているとの説明を受けた。委員からは、南十勝環境衛生センターと、くりりんセンターのごみ処理の取り扱いの違いなどについて意見が出された。

②救命講習の現状について

1分1秒を争う傷病者の命を救う目的で実施している救命講習の取組、応急手当の普及啓発活動、医療用マネキンを使用したAEDの取り扱い方法などについて説明を受けた。委員からは、普通救命講習と一般講習の違いや、AEDの取り扱い方法の周知に対する意見が出された。

③幕別町地域防災訓練について

今年度予定されている地域防災訓練の計画、「避難勧告の発令等に着目したタイムライン」「防災行動計画」では、平成27年度に国の河川洪水予報に伴う「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン」が改定されたことなどについて説明を受けた。委員からは、これまでの地域防災訓練の反省から、避難所での運営委員会の開催時、参加者の待機時間が長時間に及ぶ点を改善すべきであること、平成28年の台風災害時に、避難行動要支援者名簿が活用されていたのかなどの質問が出された。



南十勝環境衛生センター視察 (広尾町)

産業建設常任委員会

【所管事務調査】

・平成30年8月9日

①作況調査について「JAさつない区域の農作物(野菜)」

JAさつない組合員の圃場を視察し、農作物の作付け、生育状況について説明を受けた。委員からは、全国的な天候不順による野菜不足から、価格の高騰が続いており、今後は好天に恵まれることを期待したい。農作物の管理の大変さなど、消費者に農業生産現場を理解いただく取組も続けていく必要があるとの意見が出された。



作況調査 (だいこん (途別))

## 委員会レポート（常任委員会・道内先進地視察調査）

道内先進地視察調査

平成30年7月9日から10日

### 《ニセコ町》

農商工連携について、「ニセコ町農業振興計画基本構想」等に基づき調査した。

J A ようていに堆肥センターの運営管理を委託、生産された堆肥は、農業者や一般家庭に販売されている。観光リゾート地としては、農業と観光の関わり方が難しい一面もある。夏期間の農業アルバイトは、冬期間の観光アルバイトの影響を受けて時給が上がり、雇用しづらい状況が生まれ、農業者の経営を圧迫する一つの要因となっている。離農した農地の用途変更を行い、高額売買を検討する農業者もあると聞き、農業と観光の連携について考えさせられた。

### 《小樽市》

滞在型観光の具体的な取組について調査した。

外国人観光客に対する施策として、商工会議所・小樽商科大学・小樽観光協会などで組織する、小樽観光大学校が観光ガイドの育成を行う。2級・1級・マイスターの3種で、976人の有資格者が有料ガイドを務めている。本町で

## 高校生講座を開催

もパークゴルフの振興、観光ガイドの育成など、プラス8プロジェクト事業の成功に向け、体験型観光をさらに深化させる必要がある。

### 《ふれあいファームしのつ（江別市）》

直売所の運営会社設立、管理、運営方法などについて調査した。

野菜を出荷する農家は、原則、会社の株主になることを義務付け、江別産野菜の加工品で江別の食文化を発信している。営業期間が5月から11月であり、従業員の安定雇用に通年営業を目指す。費用対効果などの課題がある。本町での住民意識の醸成など、直売所の設置・運営の課題を認識した。



ニセコ町視察（ニセコ町役場）

## 高校生講座を開催

高校生の政治への関心や参加意欲を高め、議会制度や選挙制度等を説明し、町議会を身近な存在と感じてもらおうことを目的として、高校生講座を開催しました。

7月24日は、幕別高校2・3年生を対象に役場3階議場を会場に開催し、10月11日は、江陵高校体育館を会場に、同校の3年生を対象に出前講座として開催しました。

藤谷議会運営委員会委員長から町議会の仕組みなどについて説明した後、町選挙管理委員会による模擬投票の体験や、質疑応答などを行いました。



高校生講座後に記念撮影  
（幕別高校2・3年生（役場3階議場））

## 議会広報研修会に参加

8月22日、北海道町村議会議長会主催による議会広報研修会が、札幌市（ポールスター札幌）で開催されました。

広報コンサルタントの芳野政明氏を講師に、議事公開や一般質問による行政監視と評価、調査・研修内容の成果に係る住民との情報共有など、議会活動が町民に知られ、議会だよりは読まれているか、地域の実情や課題を議会に反映させ、町民福祉の向上につなげる活動を広報できているかなど、議会と町民をつなぐための広報広聴活動の充実について講義されました。



議会広報研修会（札幌市）

